



会礼の話 11月

まずは皆さんに質問をします。今日は11月14日ですが、今の季節は何だと思いませんか。秋だと思う人？冬だと思う人？正解は、冬です。「まだまだ寒くないよ。」「冬ってもっと寒いと思うよ。」と思う人もいるかもしれませんね。じつは、春夏秋冬それぞれの季節の始まりの日は決まっています、今年の冬は先週の11月7日から始まりました。「誰が決めたの？」って思うかもしれませんね。

皆さんは「暦」とか「暦の上では」という言葉をニュースや天気予報で聞くこともあるかと思いますが。「暦」とは、簡単に言うと「はるか遠い昔から、月や週、日、季節などの移り変わりを知るために用いられてきた仕組み」です。その一番簡単なものが、皆さんがふだん見慣れているカレンダーですね。



この「暦」によると、今年の冬の始まりの日は、11月7日となっているのです。この冬の始まりの日を「立冬（りっとう）」、春の始まりを「立春（りっしゅん）」、夏の始まりを「立夏（りっか）」、秋の始まりを「立秋（りっしゅう）」といい、その年その年で日付が決まっています。さらに、それぞれの季節は六つに分けられています。冬の場合は「立冬（りっとう）」「小雪（しょうせつ）」「大雪（たいせつ）」「冬至（とうじ）」「小寒（しょうかん）」「大寒（だいかん）」です。それぞれの意味は、またタブレットなどで調べてみてください。

それでは、なぜ昔の人はカレンダーに月や日だけでなく、このような季節を表す言葉まで含めたのでしょうか。その理由はいろいろとあるようですが、一つは「豊かな自然の中で、より季節を感じるため」といわれています。昔の人が使っていたカレンダーは、今とは違って月や日と実際の季節がずれてしまうことがあり、正しく季節を知るために使われ始めたそうです。お米や野菜を作る人が多かった昔では、とても大切なことだったようです。今使われているカレンダーと照らし合わせると季節が少し違っていますが、今よりもっと自然が豊かだった昔、人々はこの暦で季節を知ったそうです。

では、皆さんはどんなところで自然の豊かさや季節を感じるでしょうか？肌で感じる暑さや寒さでしょうか。朝や夕方の気温の変化でしょうか。身の回りの景色の変化でしょうか。先日は皆既月食といって、月が地球の陰に隠れてしまう現象がありました。見た人も多かったと思います。笠原小学校の運動場や学校の周りでも、自然の素晴らしさや季節の変化が感じられるところはたくさんあると思います。ほんのちょっとしたことから、季節の変化や自然の素晴らしさが感じられるといいですね。

これで校長先生のお話を終わります。

